

第1号様式（第7条関係）

文化振興基金活用事業助成金交付申請書

年 月 日

（宛先）

秦野市長

申請者（団体にあつては、所在地、名称及び代表者名）

住 所

氏 名

（団体名・代表者名）

電話番号

秦野市文化振興基金活用事業助成金交付要綱第7条の規定により助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

1 事業名

2 申請額 _____ 円

市税等確認同意書

助成金の交付申請に当たり、市税等の納付状況を確認することに同意します。

年 月 日

住 所

氏 名

（団体にあつては、代表者）

第2号様式（第7条関係）

事業計画書

事業名		
実施期間		
実施場所		
参加対象者及び人数		※参加見込み人数の詳細（過去の実績人数など）
入場料・参加費	<input type="checkbox"/> 有料（ 円） <input type="checkbox"/> 無料	
具体的内容		
事業の目的		
助成を受けることで特別に期待される効果（事業の成果）		
別紙資料	<input type="checkbox"/> 有（ ） <input type="checkbox"/> 無	

切り取り線

切り取り線

第3号様式（第7条関係）

収支予算書

1 申請額

(1) 自己負担額の1/2 _____ 円

(2) 申請額（(1)の千円未満切り捨て） _____ 円

2 収入及び支出に関する予算

(1) 収入の部

区分	項目	予算額	積算の基礎（内訳）
収入経費（A）			
自己負担額（C）	自己負担額		
	計		

切り取り線

切り取り線

(2) 支出の部

区分	項目	予算額	積算の基礎（内訳）
助成対象経費（B）	人件費		
	小計		
	会場設営費		
	小計		
	広告宣伝費		
	小計		
	事業制作費		
	小計		
	計		

(注)

- 1 収入経費（A）とは、入場料、参加費、物品販売、協賛金、広告収入、補助金等をいう。
- 2 助成対象経費（B）とは、人件費、会場設営費、広告宣伝費及び事業制作費をいう。食糧費、備品購入費、交際費、懇親会費、その他事業の実施に当たり直接必要ないと認められる費用、実施者に対して支払われた費用（報償、宿泊費、交通費、役務の提供に係る代金等）及び実施者の主たる構成員が所属する団体に対して支出される費用は含まない。
- 3 収入及び支出の合計は等しくなる。（Cは、BからAを差し引いた金額とする）
- 4 申請額は、自己負担額（C）の2分の1以下で、1,000円未満切り捨てとする。（上限は、個人の場合10万円、団体の場合30万円）

直近事業の決算額		【事業年度】 年度（ . . . ~ . . . ） 円（※収支予算書の「助成対象経費」にあたる支出を記入）		
助成金等の状況		助成金等の交付を受けた年度： 助成金等の名称：		
助成事業 （申請） に関する 連絡先・ 窓口	氏名 <small>（ふりがな）</small>			
	住所	〒 —		
	電話		FAX	
	E-mail			
通知類の 送付先	送付先			
	宛名			

備考

- 「助成金等の状況」欄は、過去5年以内に本市から助成金又は補助金を受けている場合に、交付を受けた年度及び助成金等の名称を記入してください。
※助成を受けようとする事業について、同一年度内に、本市の他の制度による助成を受ける場合は、この要綱による助成を受けることはできません。
- 個人・団体の活動歴が分かる資料がある場合は、添付してください。

第10号様式（第10条関係）

助成対象事業事前着手届

年 月 日

（宛先）

秦野市長

申請者（団体にあつては、団体の所在地、名称及び代表者名）

住 所

氏 名

（団体名・代表者名）

電話番号

文化振興基金活用事業助成金交付要綱第7条の規定に基づき交付申請する次の事業について、交付決定前に事業着手しますので届け出ます。

1 事業名

2 事業着手年月日及び事業完了予定日

(1) 事業着手年月日

(2) 事業完了予定日

記入例

第1号様式（第7条関係）

文化振興基金活用事業助成金交付申請書

○年○月○日

(宛先)
秦野市長

提出日の日付を記載してください。

申請者（団体にあっては、団体の所在地、名称及び代表者名）

住 所 神奈川県秦野市○○○

氏 名 申請者氏名

(団体名・代表者名)

電話番号 ○○○○-○○-○○○○

秦野市文化振興基金活用事業助成金交付要綱第7条の規定により助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

1 事業名 ○○○○○○○○○○○

事業計画書（第2号様式）と事業名を揃えてください。

2 申請額 182,000 円

市税等確認同意書

助成金の交付申請に当たり、市税等の納付状況を確認することに同意します。

○年○月○日

提出日の日付を記載してください。

住 所 神奈川県秦野市○○○

氏 名 申請者氏名

(団体にあっては、代表者)

団体の場合も、団体の所在地と名称ではなく、代表者の住所と氏名を記載してください。

記入例

第2号様式（第7条関係）

事業計画書

事業名	○○○○○○○○○○○○○○○○	第1号様式と揃えてください。
実施期間	○年○月○日 (会計等事務処理終了日○年○月○日)	<ul style="list-style-type: none"> ・複数日ある場合は全日程を記載してください。 ・会計等事務処理が終了する日も必ず併記してください。 ・ゲネプロ、公演日、開演時間などがわかるように記入してください。 例) ゲネプロ ○年○月○日 (会場:○○) 公演日 ○年○月○日 開場 ○時/開演 ○時/終演 ○時
実施場所	○○ホール	複数の会場で実施する場合は全て記載してください。
参加対象者及び人数	一般市民500人	構成員ではなく、事業に参加できる観客等の人数を記載してください。
入場料・参加費	<input checked="" type="checkbox"/> 有料 (一般 1,000 円、学生 500 円) <input type="checkbox"/> 無料	料金形態が複数ある場合は全て記載してください。
具体的内容	<p><新たに取り組むこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでになかった新しい取組みで、○○をする。 <p><特色></p> <ul style="list-style-type: none"> ・秦野市特有の○○を生かした展示等とする。 	<p>事業の具体的な内容・特色・新たに取り組むことをなるべく詳細に記載してください。</p> <p>※用紙に収まらない場合は、別紙で提出</p> <p>※実施場所における法規制の有無、地権者等の承諾や、近隣の理解を得ているかなどについても、別途説明できる資料を提出</p>
事業の目的	この事業は、日頃、○○を中心に活動している者たちが、芸術鑑賞の機会が少ない秦野市民に、質の高い芸術作品（演奏、作品展示等）に触れてもらう機会をつくとともに、芸術への理解を深められるようにすることを目的とする。	なぜ事業を行うのか。（事業の意義）
期待される効果（事業の成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方に○○の良さに触れていただく ・秦野市民に○○活動の機会を提供するなど 	<ul style="list-style-type: none"> ①最終的な目的に対して、今回の事業で期待される効果 ②その事業によって秦野市の文化振興にどのような寄与が期待できるか
別紙資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (広報計画書、チラシ、企画書等) <input type="checkbox"/> 無	企画書、過去のチラシ、記録写真等、事業の様子がわかる書類をできるだけ添付してください。

記入例

第3号様式（第7条関係）

収支予算書

1 申請額

- (1) 自己負担額の1/2 182,500円
- (2) 申請額（(1)の千円未満切り捨て） 182,000円

2 収入及び支出に関する予算

(1) 収入の部

区分	項目	予算額	積算の基礎（内訳）
収入経費（A）	入場料	400,000円	一般1,000円×300人 学生 500円×200人 (一般、学生が半数ずつとして算出)
	入場料・参加料等の根拠は、事業計画書（第2号様式）の人数と合わせてください。		
	広告収入	10,000円	広告収入5,000円×2社
	〇〇助成金		申請中
入場料・参加料等の根拠は、事業計画書（第2号様式）の人数と合わせてください。			他の助成制度を御利用の際は、申請額を記載してください。交付が確定していない場合、金額は未記載で構いません。積算の基礎に「申請中」等その旨記載してください。 注：文化振興基金活用事業助成制度に申請する金額は記載しないでください。
	××協賛金	10,000円	協賛金5,000円×2社
その他、協賛金収入、販売収入がある場合も同様に記載してください、			
自己負担額（C）	自己負担額	365,000円	
	自己負担額は自分たちで負担する金額を記載してください（内訳は不要です。）。		
	計	785,000円	収入の部合計は、支出の部合計と等しくなります。

記入例

項目名は、助成対象経費（P4参照）のとおり記載してください。
 ※助成対象となる経費のみ記載してください。助成対象外であることが明らか
 な経費は記載しないでください。また、申請時に記載されていない費目
 は、変更申請を提出しないと対象になりません。

(2) 支出の部

区分	項目	予算額	積算の基礎（内訳）	
助成対象経費（B）	人件費	出演料	500,000 円	100,000 円×5 名 （指揮者、客員演奏家 4 名）
		交通費	35,000 円	7,000 円×5 名 （指揮者、客員演奏家 4 名 ○○⇔秦野往復相当分）
	小計		535,000 円	
	会場設営費	会場使用料	100,000 円	○○ホール午後～夜間
		消耗品費	50,000 円	会場飾り付け、受付用事務用品
	小計		150,000 円	
	公告宣伝費	印刷費	50,000 円	チラシ印刷 3,000 部
		郵送料	15,000 円	チラシ郵送料（120 円×125 箇所）
		消耗品費	5,000 円	チラシ送付用封筒等
	小計		70,000 円	
事業制作費	印刷製本費	30,000 円	チケット印刷代	
	小計		30,000 円	
計		785,000 円	支出の部合計は、収入の部合計と等しく なります。	

(注)

- 1 収入経費（A）とは、入場料、参加費、物品販売、協賛金、広告収入、補助金等をいう。
- 2 助成対象経費（B）とは、人件費、会場設営費、広告宣伝費及び事業制作費をいう。食糧費、備品購入費、交際費、懇親会費、その他事業の実施に当たり直接必要ないと認められる費用、実施者に対して支払われた費用（報償、宿泊費、交通費、役務の提供に係る代金等）及び実施者の主たる構成員が所属する団体に対して支出される費用は含まない。
- 3 収入及び支出の合計は等しくなる。（Cは、BからAを差し引いた金額とする）
- 4 申請額は、自己負担額（C）の2分の1以下で、1,000円未満切り捨てとする。（上限は、個人の場合10万円、団体の場合30万円）

記入例

第4号様式（第7条関係）

個人・団体概要書

(ふりがな) 名称	○○○○○○○○○		
活動分野	音楽 募集要項に記載されている文化芸術の範囲（P2 参照）		
活動開始年月 (設立年月)	平成12年4月	団体種別 ※団体のみ	任意団体・法人
所在地 (主たる事務所)	秦野市○○○ 個人の場合：住所 団体の場合：事務所又は代表者住所		
主な活動地域	市内（地域：本町地区・西地区を中心に活動） 市外（地域：県央を中心に活動）		主な活動地域
団体の設立目的 ※団体のみ	あらゆる人々に対して、文化芸術に関する事業を行い、文化芸術の普及、発展及び向上に寄与すること		
構成員数 ※団体のみ	80人（うち役員10人） 別添名簿の人数と一致します		
個人・団体の 情報公開の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ（アドレス： http://○○○○○○○ ） <input checked="" type="checkbox"/> その他の方法（定期的に情報紙を発行）		
現在の主な活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏会の開催 ・演奏会のための練習 活動内容が多岐にわたる場合は、箇条書きで記載してください。		
これまでの主な活動実績	<p>【演奏会】</p> <p>平成○年○月○日 秦野市文化会館大ホール 「○○○○（タイトル）」</p> <p>平成○年○月○日 秦野市○○公民館 「○○○○（タイトル）」</p> <p>令和○年○月○日 神奈川県民ホール 「○○○○（タイトル）」</p> <p>【展示会】</p> <p>平成○年○月○日～○日 秦野市文化会館 「○○○○（タイトル）」</p> <p>令和○年○月○日～○日 市民ギャラリー 「○○○○（タイトル）」</p> 活動実績は、それぞれの日程・会場がわかるように記載してください。実績が多数ある場合は、直近の状況を数件記入してください。チラシ等過去の実績がわかる資料があれば添付してください。		

直近事業の決算額		【事業年度】 令和7年度（R7.4.1～R8.3.31） 785,000円 （※収支予算書の「助成対象経費」にあたる支出を記入）		
		決算資料がある場合は添付してください。		
助成金等の状況		助成金等の交付を受けた年度： 令和〇年度 助成金等の名称： 〇〇〇助成金、△△△補助金		
助成事業（申請）に関する連絡先・窓口	氏名 <small>（ふりがな）</small>			
	住所	〒		
	電話	日中に連絡が取れるもの	FAX	
	E-mail			
通知類の送付先	送付先	秦野市文化振興基金活用事業助成金交付・不交付決定通知等を送付します。		
	宛名			

備考

- 「助成金等の状況」欄は、過去5年以内に本市から助成金又は補助金を受けている場合に、交付を受けた年度及び助成金等の名称を記入してください。

※助成を受けようとする事業について、同一年度内に、本市の他の制度による助成を受ける場合は、この要綱による助成を受けることはできません。

- 個人・団体の活動歴が分かる資料がある場合は、添付してください。

第10号様式（第10条関係）

助成対象事業事前着手届

年 月 日

（宛先）

秦野市長

申請者 （団体にあつては、団体の所在地、名称及び代表者名）

住 所 神奈川県秦野市〇〇〇

氏 名 申請者氏名

（団体名・代表者名）

電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

文化振興基金活用事業助成金交付要綱第7条の規定に基づき交付申請する次の事業について、交付決定前に事業着手しますので届け出ます。

1 事業名

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

第1号様式と揃えてください。

2 事業着手年月日及び事業完了予定日

(1) 事業着手年月日

〇年〇月〇日

第2号様式と同じ実施日を記入してください。
実施日が1日限りの場合は、事業着手年月日と
事業完了予定日が同日になります。

(2) 事業完了予定日

〇年〇月〇日

(申請の際に御利用ください。)

提出書類確認票

		チェック欄
1	秦野市文化振興基金活用事業助成金交付申請書 (第1号様式)	
2	事業計画書 (第2号様式)	
3	収支予算書 (第3号様式)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・使用施設の会場使用料の見積書又は料金表を併せて提出してください。 ・料金表の場合は、料金の積算も併せて提出してください。 	
4	個人・団体概要書 (第4号様式)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・実績確認書類 (直近の主催実績を確認できるチラシやプログラム等) を添付してください。 	
5	助成対象事業事前着手届 (第10号様式) (4月1日から10月頃までに事業に着手する予定がある場合のみ提出)	
6	広報計画書 (指定書式はありません。)	
7	事業のチラシ (すでに完成している場合)	
8	団体規約・会則 (指定書式はありません。団体の場合のみ提出)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人など法人格を有する団体は、定款又は登記事項証明書の写しを提出してください。 ・法人格を有しない任意団体は、規約や会則の写しを提出してください。 	
9	会員名簿 (指定書式はありません。団体の場合のみ提出)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・団体構成員の出演、団体構成員に関わる経費を確認するため、団体構成員名簿 (全員分) を提出してください。 	
10	実施者の事業実績及び事業の詳細がわかる資料	
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施者のこれまでの事業記録 (映像 (CD等) 又は紙媒体) 及び実施場所における法規制の有無、地権者等の承諾や近隣の理解を得ているかなどについて、別途説明できる資料を提出してください。 	

秦野市文化振興基金へ御協力を！

市民文化の振興を目的とした文化振興基金は、市民や団体、企業などからの寄附金を財源としています。

平成30年度から、基金を活用して、個人や団体が行う多様な文化芸術活動を支える助成制度がスタートしました。

創造的で豊かな文化芸術が育まれますよう、この基金への御寄附をお願いします。

御寄付は、秦野市文化スポーツ部文化振興課（TEL0463-86-6309）で随時お受けしています。

※ この募集要項及び申請様式は、秦野市ホームページからダウンロードできます。

問い合わせ先

秦野市文化スポーツ部文化振興課

〒257-8501 秦野市桜町1-3-2

電話：0463-86-6309

E-mail：bunsin@city.hadano.kanagawa.jp